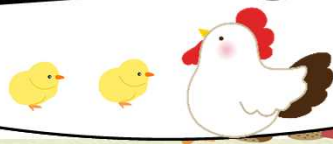


衛生だより



令和2年度第35号（11月）発行

北部家畜保健衛生所

東部・北部家畜防疫獣医師会

〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1

Tel : 0478-54-1291 Fax : 54-5996

夜間・休日緊急（転送されます）

（公社）千葉県畜産協会

〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

福岡県で今季初の高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）疑似患畜を確認！（国内9例目）

発生場所：福岡県宗像市 飼養状況：肉用鶏（約9.4万羽）

経緯：11月24日、死亡鶏が増加した旨の通報を受け、福岡県が当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに立入検査を実施。当該鶏についてインフルエンザ簡易検査陽性を確認。

11月25日、遺伝子検査の結果、H5亜型のHPAI疑似患畜であることが確認された。

今季はすでに9例の発生があり、いつもより発生時期が早くなっています。

国内の野鳥の感染も相次ぎ、全国的に感染リスクが高い状況です！

農場の飼養衛生管理を徹底し、**嚴重警戒をお願いします！**

鳥インフルエンザ侵入防止のため、以下の徹底を！

- 衛生管理区域出入り時の車両、人、物の消毒
- 鶏舎周辺、農場敷地周縁への消石灰散布
- 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- 鶏舎ごとの長靴の着用

- ★ 履き替え時に鶏舎内外の動線は交差していませんか？
- ★ 靴が糞尿等で汚れていると、消毒しても効果がありません。洗浄後の消毒を徹底しましょう。

- 鶏舎、防鳥ネットの破損等の補修・修繕

- ★ 破損があれば、早急に修繕を！
- ★ 堆肥舎、飼料保管庫等へも防鳥ネットを設置しましょう。

- 集卵ベルトや除糞ベルトの開口部の隙間対策

- ねずみ及び害虫の駆除

- 毎日の健康観察、早期発見・早期通報

家きんに異常が見られたら、速やかに家保に連絡を！

香川県のHPAIの続発状況を踏まえた緊急提言について

(令和2年11月24日 家きん疾病小委員会より抜粋)

- 1 過去の海外の事例では、限定されたエリアにおける短期間での続発の要因は、多くの渡り鳥の飛来や人、機材、車両等による農場間の伝播、長期間の防疫措置による環境中のウイルス量の増加である可能性が報告されている。
- 2 今回の香川県の発生でも、小型野生動物の侵入、人・物等の疫学関連による伝播の可能性や、ため池等の地理的状况から、野鳥の集団が持ち込んだウイルスの量が環境中で高まっていること、また、養鶏密集地域において環境中のウイルス量が増大していったこと等が想定される。
- 3 香川県における3～8例目は、1例目の発生農場の移動制限区域内（発生農場から半径3kmの区域）で発生しており、この区域内ではウイルス量が増大していることを念頭に行動することが重要である。
- 4 具体的には、
 - ①農場における早期通報
 - ②家きん舎壁の隙間を塞ぐ等の小型野生動物の侵入防止
 - ③家きん舎ごとの手袋及び長靴の交換等の飼養衛生管理の徹底
 - ④畜舎周りの消毒
 - ⑤関連事業者も協力して行う資材・機材消毒
 - ⑥地域における車両消毒、ため池周辺や発生農場周囲の主要道路等の消毒、野鳥対策等についての地域の関係者が一体となった取組を徹底して行うことが必要である。

鹿児島県の死亡野鳥におけるHPAIウイルス検査陰性について

鹿児島県出水市で11月15日及び16日に回収された死亡野鳥2羽について確定検査を実施したところ、HPAIウイルスは検出されませんでした(陰性)。

鹿児島県で採取された環境試料（水）からHPAIウイルス検出！

鹿児島県出水市で11月16日に採取された環境試料（水）からHPAIウイルス（H5N8亜型）が検出（陽性）されました。



毎月1日は一斉消毒の日です！消毒の徹底を！

鶏の様子がおかしいと思ったら…

北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291 Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください